

# 復興研究会報告

NO.27(令和元年度 第3号)

発行  
岩手県立大槌高等学校  
復興研究会・O A部  
発行日  
令和元年8月28日

## 復興研究会キッズステーション ボランティア活動参加

猛暑の夏休み中、キッズステーション班のメンバーは各場所で子どもたちとのふれあい活動に参加しました。

活動に参加した皆さんの声をご紹介します。



今回、初めての活動でしたが、楽しく過ごせて良かったです。最初は緊張して不安でしたが小学生から、手を引いて一緒に遊んでくれてすごい嬉しかったです。高齢者の方とも話す事が出来たし、一緒に物を作ることができ良かったです。今回このような貴重な体験をして将来に役立つと思うのでこのような活動に積極的に参加していきたいです。(1年女子)

小さい子どもながらそれぞれ考えて行動していて感心しました。誰かのために純粹に行動できる彼らを、心の底から尊敬出来ると思いました。(2年男子)

一人一人の作業スピードが違うので班員をまとめることが大変でした。完成した作品は似ているようで少し違うので作った人の個性が出ていると思いました。去年もO L A Iで木工教室の手伝いをしていたので今回はすばやく作業できました。次回もO L A Iで活動したいと思いました。(2年女子)





初めてキッズステーションの活動に参加し、ねまれやに行きました。いつも町民バスでおる道にあるのに、全く知りませんでした。小学生と聞いていたので、弟くらいの年の子どもが多いのかなと思ったら、弟よりも年上の4年生、5年生くらいの子が多くびっくりしました。みんなとても元気で、私も一緒に楽しんで遊びました。1階ではお年寄りの方々が切り絵をしていました。それを使ってとうろうを作るそうで、私もとうろうに貼る手伝いをしました。

「地域共生ホーム」という名のとおり、子どもも大人も同じ空間で、年齢に関係なく関わり合っていて、この考えが町全体に広がれば良いなと思いました。(2年女子)

この2日間でたくさんの事を学びました。高齢者の方からは昔話を聞き「今を大事にするんだよ。」と言われ勇気づけられました。(1年女子)

大ヶ口保育園に行きました。そこで、子ども達と一緒に遊びました。ご飯を食べさせたり、お昼寝をさせたり色々な事を学びました。楽しい体験ができました。(3年女子)



大ヶ口保育園の三歳児クラスに入りました。園児が6人と少ないクラスでした。はじめは、人見知りをして女の子達はモジモジしていましたが、すぐに慣れてたくさん話しかけてくれました。2日間とても楽しかったです。(3年女子)

